

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

180

地場産業振興事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事業		通商産業振興事業	
	中事業		地場産業振興事業	

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	清水 出 435-1233
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。 わかちか広場の管理を行う。		本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。 わかちか広場の管理を行う。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場再整備に伴う実施設計をもとに整備工事を行う。 整備工事後のわかちか広場の管理を行う。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理を行う。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 わかちか広場の管理に要する経費を負担する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	101,407	98,064	14,749	15,791	15,636	15,092	17,284	0	17,284	0
伸び率(%)	814.9%	930.4%	△85.5%	△83.9%	6%	△4.4%	10.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,099	7,418	7,833	8,632	8,699	4,833	4,833	0	4,833
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,099	7,418	7,833	8,632	8,699	4,833	4,833	0	4,833
国庫支出金	43,031	40,404	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	38,700	35,500	0	0	0	0	1,100	0	0	0
その他	0	0	170	458	325	763	366	0	366	0
一般財源(税等)	19,676	22,160	14,579	15,333	15,311	14,329	15,818	0	16,918	0
所要人数(人)	正規職員	0.89	0.93	0.98	1.08	1.08	0.60	0.60	0.00	0.60
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金補助及び交付金5,900千円、わかちか広場管理委託料7,217千円、需要費1,603千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
工業団体が行う各種展示会開催・出展数	事業		目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	9	7		
			達成度(%)	100%	112.5%	87.5%	%	%
粗付加価値額(工業統計調査)	億円		目標値	5863	5922	5981	6041	6101
			実績値	5769	5769	6095		
			達成度(%)	98.4%	97.4%	101.9%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>各工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業への補助により、国内外のバイヤーや一般消費者に対して新たな販路開拓や当市地場産業をPRすることができた。</p> <p>継続的に展示会等に出展しPRすることにより国内外の人に認知してもらうことで販路拡大に繋がるため、今後も販路開拓の支援や人材育成の分野でも支援が必要。</p>
見直し・改善内容	<p>引き続き国内外での展示会や出展を行い、販路開拓を図るとともに和歌山ブランドの育成にも寄与する。</p> <p>今後、より効果的な販路開拓が図ることがきる展示会への出展を検討していく。</p> <p>また、人材育成には時間を要するため中長期にわたり支援を行っていく。</p>